



## 「大切な一言」

副校長 池田 吉弘

ある本にこのような始まりの文章が載っていました。(以下、抜粋です)

「ごめんなさい」たったこれだけの言葉なのに、口に出すのが難しいと感じたことはありませんか。悪気がなかったとしても、間違ったことをしたり、人に迷惑をかけたたりしてしまった経験は誰にでもあると思います。

トラブルが起こったとき、いつも「自分は正しい」と思ってはいませんか。相手ばかりを批判して、人の心を傷つけることはしていませんか。「自分が悪かった」と反省して素直に謝ることができますか。

この「反省」とは、非情に難しいものです。たとえ自分が悪いと思っていなくても、素直に謝れないこともあります。一方で、他人の過ちに対しては、厳しい批判をしてしまうこともあるでしょう。私たちの批判の目は、人に対しては簡単に向けられますが、自分自身にはなかなか向かないところ。物事がうまくいかない、不都合の原因を人や環境のせいにしてしまいがちです。しかし、自分自身にも原因や責任があるのかもしれない。

自分自身を省みず人を指さすことは簡単です。しかし、人を指さした手の形を見てください。中指・薬指・小指の三本はどちらを向いているでしょうか。相手に向けた「人差し指」に対して、自分のほうを向いている指は三本です。それは、他人を一度指すごとに、自分は三度反省しなければならないと教えてくれているかのようです。

過ちや失敗は、誰にでもあります。悪気がなくてもつい人に迷惑をかけていることもあるでしょう。いけないと知りつつ、人に対して意地悪をしてしまうこともあるでしょう。また、そのことについて人から指摘や忠告を受けても、素直に認めることができず、無意識のうちに自分を守ろうとする気持ちが働きます。そうして心に余裕がなくなると「ごめんなさい」の一言が言えなくなり、ますます人間関係の不協和音が広がるのです。

そうしたときは、まず一呼吸おいて、相手と自分の立場を交換し、相手の立場から自分自身の言動を見つめなおしてみましょう。すると、知らず知らずのうちに相手の心を傷つけるような言動をしていなかったか、迷惑をかけていなかったかなど、それまで気づいていなかったことが見えてくるかもしれません。

人はだれしも不完全な存在です。自分が不完全であるのなら、他人もまた不完全なところをもつ同じ人間なのです。「不完全な自分」を認めることは、人に対する優しさや、思いやりにもつながっていくのではないのでしょうか。

「反省」は、後悔とは異なります。それは「不完全な自分」を自覚して、同じように「不完全な他者」を受け入れ認めつつ、ともに前向きに歩いていくための力を生み出すものです。そもそも、私たちの欠点を陰で批判する人はあっても、面と向かって忠告してくれる人は少ないでしょう。そうした経験もまた「貴重な反省の機会」と受け止めて、明日への力を養っていききたいものです。

自分自身を冷静に省みる その一日一日の積み重ねが、私たちの心を成長させ、周囲の人とのより良い関係を築いていくもとになるのではないのでしょうか。

引用が長くなりましたが、私自身の考えと重なりましたので紹介させていただきました。現代の人間関係の難しさによりよく生きていくための示唆が込められていると思います。私自身は、原点復帰〔「サウイフモノニ ワタシハナリタイ」(宮澤賢治「雨ニモマケズ」より)〕の必要性を感じました。



# 退職・異動された教職員 ~ お世話になりました ~



校長 池上 育志 先生  
(練馬・谷原小学校へ)

元気はつつ立野っ子が、すぐ側のすてきな立野公園での持久走大会をがんばっていた姿や、縦割り班で仲良く笑顔で遊び回っていた姿がとても印象的です。4年間、保護者・地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。今後の立野小のますますのご発展祈念いたします。



主任教諭 田中 真由美 先生  
(練馬・石神井東小学校へ)

立野小学校には7年間お世話になりました。主に図工の授業を通して子供たちと関わり、どの子も自分の思いをのびやかに表し創り出すことが大好きになってくれたと感じています。1年生から6年生まで関わったことが私には、かけがえのない経験になりました。立野小の子供たちが未来のよりよい創り手となって成長されますよう応援しています。ありがとうございました。



教諭 加藤 悠 先生  
(国立・国立第六小学校へ)

立野山、白くま、校歌、そして元気いっぱい立野小の子供たち…たくさんの思い出が、大好きな立野小学校を去った今でも心に鮮やかに浮かべられます。5年間の担任経験で、運動会の表現や長縄集会、毎日の歌など子供たちとの思い出でいっぱいです。明るく素直な立野小の子供たちと一緒に、多くの事にチャレンジできた日々でした。いつも温かく見守ってくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



教諭 荒屋敷 智子 先生  
(江東・第五砂町小学校へ)

満開だった桜の木も気づけばすっかり葉桜になりましたが、私の心の中にある立野小学校での思い出は散ることなく今でも満開です。思い出すのは、立野小の皆さんの元気な姿ばかりです。そんな皆さんのように、私も元気に毎日チャレンジ精神をもって過ごしていこうと思います。4年間、本当にお世話になりました。



育休代替教員 中山 和亮 先生  
(練馬・開進第三小学校へ)

立野小学校の皆さんお久しぶりです。私は同じ練馬区の開進第三小学校という学校で、昨年度と同じく1年生の担任となりました。初めてというのは、何度体験しても期待と不安でいっぱいです。しかし立野小学校での大切な思い出を胸に、1年生と一緒に1から頑張ります。1年間という短い期間でしたが、お世話になりました。



特別支援教室専門員 桂 香 先生  
(練馬・石神井西中学校へ)

立野小の皆さん、ご進級おめでとうございます。私は、石神井西中で、今年度から始まった「マイステップアップルーム」の環境を整えたり、困っている生徒がいないか全校にアンテナを張り巡らせたりしています。中学校に来てみて、小学生のうちに習慣にしておいて欲しい一番大事なことが分かりました。それは、連絡帳を毎日きちんと書いて自分のスケジュールを管理することです。これが身につければ、中学校で良いスタートが切れますよ！成長した皆さんが入学してくるのを石神井西中でお待ちしております。



学校生活支援員 粟国 美佐子 先生  
(新宿・西戸山小学校、市谷小学校へ)

立野小学校の皆さんへ  
立野小学校で皆と過ごした五年間は私の一生の財産です。明るく、元気で、相手を思いやる皆に出会えて本当に楽しかったです。これからもずっと応援していますので「自分らしさ」を大切に何事にも一生懸命取り組んでください。きっといいことが起こるはず♪

## 心を育てる 立野の生活指導

新年度が始まり、一ヶ月がたちました。子供たちも新しい教室でこれからじっくり学習に取り組んでいくことでしょう。さて、その学習に使う筆記用具ですが、進級とともに新しいものを用意することもあるかと思いますが。学校では、「物は最後まで大事に使う」「学習に必要なものは持ってこない」という基本方針の下、全ての学級で以下のように指導しています。子供たちが集中して学習に取り組んでいけるように、このきまりをもう一度ご家庭でも確認していただき、学習用具を揃えるようお願いいたします。

**筆箱**.....低学年は箱型(シンプルで、できるだけ無地のもの)  
中・高学年は、ペンケース型でもよい。  
(シンプルなもので、飾りは付けません。)

**赤鉛筆**.....ペンは使用しない。必要であれば青鉛筆は使用してよい。

## 着任した教職員

~ よろしくお願ひします ~

校長 幅 健司 先生(中野・上高田小より)

のどかで落ち着いた地域の環境と、無邪気がかわいい子どもたちとのふれあいに、立野小学校に赴任できましたことを心より嬉しく思っております。これまでの立野小の歴史と伝統を継承し、保護者、地域の皆様とともに、子どもたちのために開かれた学校づくりに努めてまいります。

主任教諭 進藤 洋子 先生(武蔵野・大野田小より)

お隣の武蔵野市より異動してきました、図工専科の進藤洋子です。元気で明るい子供たちと毎日楽しく図工の授業を行うことができ、とてもうれしく思っています。立野小の子供たちの素敵な感性を大切に、アートでいっぱいの学校にしていければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

主任教諭 大野 裕美 先生(練馬・大泉学園桜小より)

同じ練馬区内より参りました大野裕美です。静かで落ち着いた環境の中で、のびのびと育ってきた子供たちと笑顔いっぱいの毎日を過ごしていけるよう、力を尽くしていきたいと思ひます。子供たちや保護者の方々、地域の皆様とのたくさんの出会いにわくわくしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

教諭 森脇 雄史 先生(東久留米・南町小より)

今年度、東久留米市より異動してきました森脇雄史です。立野小の子供たちと、何事にも全力で様々なことに挑戦していければと思います。学校のことについては、分からないことばかりですが、子供たちの助けも借りながら頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

育休代替教員 酒井 正己 先生(杉並・第十小より)

はじめまして、杉並区よりやってまいりました酒井と申します。杉並にいた時には、善福寺公園の先の丸く切り取られた区の境界線が気になっていたのですが、実際にその先へ来てみると、のどかで落ち着いた素敵な雰囲気のある街があって、新しい出会いに胸が膨らんでいます。どうぞよろしくお願ひいたします。

育休代替教員 東 誠一郎 先生

今年度から採用になりました東誠一郎です。立野小学校の子供たちが、学校に来るのを楽しみに思うような授業をしていきたいと思ひます。どんな困難な壁でも子供とぶつかり、サポートをしながら一つ一つ乗り越えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別支援教室専門員 山岸 一良 先生(杉並・三谷小より)

よろしくお願ひいたします。専門員として仕事をさせていただくのは初めてですが、巡回指導の先生方と一生懸命やったいこうとはりきっています。「せんせいが ほしいといわれ 心だけ ついていきたい はないちもんめ」  
つけ麺が好き！浦和レッズが好き！温泉が好き！子どもたちの笑顔が大好きです。日々是好日！

## 5月の行事予定

1	水	天皇即位の日
2	木	国民の祝日
3	金	憲法記念日
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日
7	火	M 1年生5校時始 視力(6)
8	水	M 委員会 4時間授業 視力(5) 移動教室説明会(6)
9	木	たてわり 視力(4) 尿(二次)
10	金	特別時程 午前授業 安全指導 移動教室前日健診(6)
11	土	
12	日	
13	月	全校朝会 軽井沢移動教室(6)始 視力(3)
14	火	M 視力(2) 自転車安全教室(3)
15	水	M 内科(4) 移動教室説明会(5)
16	木	M 軽井沢移動教室(6)終 視力(1)
17	金	M 内科(2.3)
18	土	こども縁日
19	日	
20	月	全校朝会 クラブ 避難訓練
21	火	M 遠足(1.2) PTA 定期総会
22	水	M
23	木	M
24	金	M 内科(1.5)
25	土	
26	日	
27	月	音楽朝会 クラブ
28	火	M 午前授業
29	水	M 遠足(1, 2 予備日)
30	木	代表集会 眼科(全)
31	金	オープニング集会 立野フェスティバル

## 【6年 移動教室】

13日(月)から16日(木)までの4日間、長野県の軽井沢に行ってきます。

昨年度の下田移動教室より1日長いので、体験学習や施設見学を通して、より長野県の歴史や文化、自然に大いに触れられることでしょう。

また、夜は、子供たちが楽しみにしている肝試しやキャンプファイヤ-、室内レクなども予定しています。

新年度になってすぐの移動教室のため、準備期間が短いですが、楽しい思い出ができるようしっかり進めています。

6年生担任 中野智美 岡部竜

## 【立野フェスティバル】

立野小では、創立記念日をお祝いして毎年「立野フェスティバル」を行っています。今年度は、5月31日(金)の1~3校時を使って行われ、子供たちは前半と後半に分かれて、お店を回って楽しめます。オープニング集会では、集会委員会による立野小クイズや全校合唱が行われ、フェスティバルを盛り上げていきます。2~6年生はみんなに楽しんでもらうために、クラスで力を合わせてお店の企画から運営を行っています。今年はどうなすてきなお店ができるのでしょうか。ぜひご家庭でも話題にして頂ければと思います。

## 【セーフティ教室】

今年度も石神井警察署の方に、不審者の対応(連れ去り防止)を6月にご指導いただきます。

今年度は、9:40~10:25が1~3年生、10:50~11:35が4・6年生、11:40~12:10が保護者・地域対象となっております。場所は、体育館です。是非ご参加いただければと思います。

生活指導部

## 教室の窓から



6年2組

担任 岡部 竜

最高学年に進級した子供たち。新たな仲間が加わり38人でスタートしました。始業式・入学式の前日準備も、当日の仕事も、笑顔でてきぱきと進めることができました。始業式以降も高いモチベーションで学習に仕事に前向きな姿が見られました。学級では「楽しい学校生活を自分たちで創る!」という意気込みで、係活動を始めているところです。自分たちが楽しいことはもちろん、他学年から見ても楽しい雰囲気を感じてもらえるような学級になるよう皆で力を合わせていきます。

3年1組

担任 河又 学

4月当初は、同じ学級だった友達と別れ、不安な気持ちをもっている児童も多かったようです。ですが、新たな友達ができ、新たな環境を楽しんでいる様子も見られます。

3年1組の子供たちは、新しいことが大好きで、3年生から始まった社会・理科には、特に興味をもって学習をしています。知識を得ることの喜びを感じながら、1年間を過ごしていければいいなと思っています。そして、今の一番の楽しみは、立野フェスティバルのようです。